



平成30年11月14日

各 位

上 場 会 社 名 : **富士精工株式会社**
 代 表 者 : 代表取締役社長 鈴木 龍城
 コード番号 : 6142 名証第2部
 問合せ先責任者 : 経営管理部長 近藤 規央
 T E L : 0565-53-6611

厚生年金基金の代行返上と業績予想の修正に関するお知らせ

当社が加入する富士精工厚生年金基金は、平成30年10月1日付で厚生労働大臣から厚生年金基金代行部分の過去分返上及び新しい企業年金制度（確定給付型企業年金）への移行の認可を受けました。

これにともない、当社は「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）第46項に基づき、当該認可の日において代行部分にかかる退職給付債務の消滅を認識した結果、平成31年2月期において2,891百万円を厚生年金基金代行返上益として特別利益に計上いたします。

また、これにあわせて最近の業績動向等を踏まえ、平成30年7月11日付で公表した平成31年2月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成31年2月期通期連結業績予想数値の修正（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	21,770	1,310	1,600	1,110	300.92
今回発表予想（B）	21,790	1,100	1,470	3,430	930.43
増減額（B－A）	20	△210	△130	2,320	
増減率（％）	0.1	△16.0	△8.1	209.0	
（ご参考）前期実績 （平成30年2月期）	20,707	635	963	457	24.41

（注）当社は、平成30年9月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の株式併合を実施しており、平成31年2月期の1株当たり当期純利益につきましては株式併合の影響を考慮しております。

修正の理由

平成31年2月期通期連結業績におきまして、連結売上高につきましては概ね前回予想のとおりですが、利益面につきましては、海外子会社を中心に原材料費の高騰、労務費の増加などがあり、国内においても超硬素材の値上げが今後の業績に影響を与える懸念があることから売上原価の見直しを行い、営業利益、経常利益は前回公表の予想数値を下方修正いたしました。

また、厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上する一方、関東営業所旧社屋解体費用の一部を特別損失に計上しており、親会社株主に帰属する当期純利益の予想数値を修正いたしました。

Press Information

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上